

請願審査資料

25年 請願 第26号

市民の安全が担保されない拙速な玄海原子力発電所3・4号機の再稼働を認めないよう求めることについて

平成26年1月27日

市 民 局

1 請願事項

25年 請願 第26号 (平成25年12月19日受理)

市民の安全が担保されない拙速な玄海原子力発電所3・4号機の再稼働を認めないよう求めることについて

- (1) 国と九州電力株式会社が市民への十分な説明会を実施することを両者に申し入れること。
- (2) 原子力規制委員会に対して、安全確認を最優先するため、審査期間を限定することにこだわらず審査することを申し入れること。
- (3) 実効的な避難計画も策定されていない状況で拙速での玄海原子力発電所の再稼働には反対すること。

2 現況等

玄海原子力発電所については、平成23年12月25日に4号機が定期検査入りしたのを最後に、1号機から4号機までの全ての原子炉が停止し、その後、国の指示に基づいて、シビアアクシデント対策等、各種の安全対策の工事が進められてきた。

平成25年7月8日、「実用発電用原子炉及びその付属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」（以下「新規制基準」という。）が施行されたのを受けて、7月12日に玄海原子力発電所3、4号機の新規制基準への適合審査申請が九州電力から原子力規制委員会に提出された。

適合審査は、これまで継続的に行われており、12月26日までに延べ30回の審査会合（現地確認を含む。）が開催されており、今後も引き続き行われる予定である。

福岡市としては、福島第一原子力発電所の事故以降、ひとたび原子力災害が発生すれば、放射性物質の放出等、直接的に影響を与える地域も広範囲に及び、大規模かつ長期的な避難が行われることを重く受け止め、原子力発電所の安全確保及び防災対策の促進、情報公開の徹底と国民への知識の普及・啓発について、福岡県市長会等を通じて、国・県・事業者に要望を行ってきたところである。

また、市域内における原子力災害対策の整備充実として、平成24年4月2日「原子力防災に係る福岡県民の安全確保に関する協定書」を福岡県及び糸島市とともに九州電力と締結し、さらに、平成25年6月「地域防災計画（原子力災害対策編）」を策定した。

さらに「福岡市原子力災害避難計画（暫定版）」についても、福岡市地域防災計画見直し検討委員会における専門家の知見を取り入れながら作成を進めており、昨年10月には、避難計画素案に基づく避難訓練を福岡市独自に実施し、その結果や市民意見等を踏まえ、年度内に取りまとめることとしている。

原子力災害対策は、市域を越える迅速かつ広域な連携が必要と考えられることから、今後も国の防災対策の見直しの動向を踏まえつつ、福岡県や近隣自治体と十分に連携を図りながら、対策の充実を図っていくこととしている。

3 請願に対する考え方

国と九州電力株式会社が市民への十分な説明会を実施することを両者に申し入れることについて

玄海原子力発電所の再稼働については、現在、玄海原子力発電所3、4号機にかかる国による新規制基準への適合審査が進められており、まずはその審査が厳格かつ徹底して行われることが必要であると考えている。

また、国は原発の再稼働にあたり、「立地自治体等関係者の理解と協力を得るよう取り組む。」ことを、平成25年6月14日に閣議決定していることから、立地自治体に限らず、広範に住民の理解を深める努力をすべきであると考えており、福岡市としては、引き続き、原子力発電に係る情報公開の徹底等について国、福岡県及び九州電力に要望していく。

原子力規制委員会に対して、安全確認を最優先するため、審査期間を限定することにこだわらず審査することを申し入れることについて

現在、原子力規制委員会が行っている原子力発電所の適合審査については、福島第一原子力発電所の事故の教訓を踏まえるとともに、国内外の最新の技術的知見なども取り入れ策定された新規制基準に基づき徹底して行われており、期間（期限）を限定する審査は行われていないものと認識している。

なお、福岡市としては、原子力発電所の安全確保について、これまで福岡県市長会等を通じて国・県・事業者に要望を行ってきたところであるが、今後とも近隣自治体と連携を図りながら継続して要望していく。

実効的な避難計画も策定されていない状況で拙速での玄海原子力発電所の再稼働には反対すること。

原子力発電所の再稼働は、国が専門的な知見に基づいて徹底した審査を行い、国の責任において判断することが肝要であると考えている。

福岡市としては、万が一の事故に備えて平成25年6月に「地域防災計画(原子力災害対策編)」を策定するとともに、具体的計画としての「福岡市原子力災害避難計画(暫定版)」の作成を進めているところであり、今年度末までに成案とすることとしている。